

※ 2024年10月10日～11日に開催予定を延期して実施いたします。

JOEM技術講座開催案内 「人材開発支援助成金」対象

《数式に頼らず光学の基本がやさしく体得できる》、《光学が専門ではない方にも》

## 『 図解による光学入門 』

講師：齋藤晴司氏（元株式会社ニコン ビジネススタッフセンター  
人事部 能力開発室 主幹）

日時：2025年3月13日（木） 10:00 ～ 17:00  
14日（金） 9:00 ～ 15:00 \*昼食1時間及び休憩を含みます。

会場：ハイブリッド（対面+オンライン）での開催となります。

\* 機械振興会館 別館4階（日本オプトメカトロニクス協会 研修室）

\* オンライン（Microsoft Teams 利用）

※当会における新型コロナウイルス対策及び対応については下記の URL をご覧ください。

<https://www.joem.or.jp/covid-19.pdf%20.pdf>

※対面希望者が少ない場合はオンラインに切り替える場合がございます。

協賛 応用物理学会,日本光学会,日本光学工業協会,光産業技術振興協会,  
電子情報通信学会,日本写真学会,画像電子学会,日本画像学会,  
映像情報メディア学会,照明学会,精密工学会,バイオインダストリー協会(順不同・予定)

### 本講座の位置付け

分野 レベル	光学設計分野	光エレクトロ ニクス分野	光学加工分野	画像技術分野
上級				
中級				
初級				

主な受講対象者：メカ/エレキ設計, 知的財産, 特許関連, 材料開発, SE, 営業関連,  
初めて光学の知識を学びたい方など。

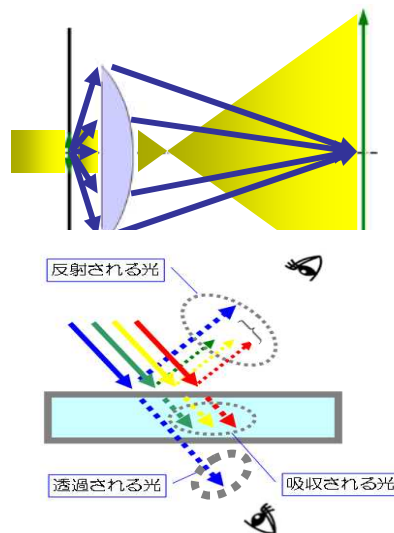
### 本講座の目的

光学は種々の光学機器、事務機械、電化製品、光通信、半導体、照明などの分野で身近に応用されており、これらの性能向上と共にその技術も進展して重要な役割を果たしています。

しかし、光学については中学、高校での理科教育の中で十分教育されているとは言い難く、国内で光学を基礎から体系的に教える大学も少なく、理工系の学生すらその基礎的内容を学ぶ機会が少なくなってきたのが現状です。最近では光学教育に対するニーズが高まる中で、光学特有の難解な数式や専門用語が障壁となって、光学の初学者にとっては理解しがたい分野と受け止められがちです。

そこで本講座では極力数式に頼らず、特別な知識がなくとも光学に対するイメージを掴みやすくする工夫に配慮して、図などをふんだんに用いて光学の基礎や考え方が十分理解できるように解説いたします。講師は光学製品の開発に多く携わり、かつ光学教育にも携わる齋藤晴司氏にお願いしました。

これから光学の基礎を学ぼうとする方、光学を専門としないが、そのエッセンスを体得したい方には最適な技術講座ですので、ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております。



講座で使用する資料（PPT）の実例

### 前回受講した方の感想!!

- ・「光とは」というところから講義が始まりましたので、光学の知見が少なくても話に入りやすいと感じ、すべて図を用いていたので理解しやすかった。・解像力や解像度など、言葉の説明もしていただき、初心者にもわかりやすかったです。
- ・ご丁寧に説明をしてくださる点、体系的に基礎的な光学について学ぶことが出来る点、また図解でわかりやすく理解を促したうえで数式による理解にも使えそうな材料についても資料に掲載されていた点が良かった。
- ・講師の方の説明が丁寧に身近な光学現象等を例に挙げて説明されていたことが良かった。・講義内で教えていただいた光学が製品においてどのように活用されているかまで講義していただくことで、今後の業務においてもどのように光学知識を活かすことが出来るのかイメージを持つことができた点が良かったと思います。

# JOEM

一般社団法人 日本オプトメカトロニクス協会  
〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番22号 機械振興会館別館内  
TEL (03)3435-9321(代) FAX (03)3435-9567  
<https://www.joem.or.jp> E-mail: info@joem.or.jp

JAPAN OPTOMECHATRONICS ASSOCIATION 3-5-22 Shibakoen, Minato-ku, Tokyo 105-0011, Japan

『 図解による光学入門 』 講義内容

一 日 目	10:00   12:00	<p>1. 光の性質</p> <p>① 光とは 粒子として, 波として, レーザ光</p> <p>② 光の要素 波長, 振幅, 振動数, 速さ</p> <p>③ 光の性質 光の進み方, 反射と屈折, 回折, 干渉, 偏光, 位相, 分光</p>
	13:00   14:50	<p>2. レンズの働き</p> <p>① レンズの性質 焦点と焦点距離, 主点と主平面, 焦点距離とパワー, 画角</p> <p>② レンズによる結像作用 結像作用, レンズによる光の屈折基本3光線, 作図による像の求め方, 物点, 像点と焦点との関係</p> <p>③ 像の大きさと明るさ 横倍率, 縦倍率, Fナンバー, 像の明るさ</p> <p>④ 像の形態と深度 実像と虚像, 正立像と倒立像, 焦点深度, 被写界深度</p> <p>⑤ レンズの組み合わせ 組み合わせレンズ, カメラレンズの主点位置, レンズメータの光学系</p>
	15:00   16:00	<p>3. レンズの収差</p> <p>① レンズの5収差 ザイデルの5収差, 収差の例</p> <p>② 色収差 軸上の色収差, 倍率の色収差, 色収差の例</p>
	16:00   17:00	<p>4. 像の評価</p> <p>① 像の成り立ち (干渉による結像) 直接光と回折光による干渉像, 回折光と開口数 (NA)</p> <p>② 解像力とコントラスト 像のコントラスト, 分解能の定義, 色収差と解像力の例</p> <p>③ MTF 物体の荒さとコントラスト, 空間周波数, MTFの表示例</p>
二 日 目	9:00   10:00	<p>5. 光学部品の機能</p> <p>① レンズ 光学ガラスの指標, 硝材, レンズの形状</p> <p>② プリズム プリズムの形状, コーナーキューブ, コーナーキューブの利用例</p> <p>③ 光ファイバー 光ファイバーの構造, 入射角の条件</p> <p>④ 薄膜コート レンズ面での反射, コートの利用</p>
	10:10   12:00	<p>6. 光学的特性を利用したもの</p> <p>① 光学的特性の利用法 干渉 (CDプレーヤー), 位相差 (位相差顕微鏡), 偏光 (液晶ディスプレイ), 蛍光 (蛍光顕微鏡)</p> <p>② 色について 物体の色, 色度座標, 光源の分光特性, 複屈折物質と色, リターデーションと干渉色</p>
	13:00   15:00	<p>7. 光学製品と自然光</p> <p>① 光学製品の構造 カメラ (カメラの構造, 露出, AF, カメラレンズの焦点距離), 望遠鏡 (望遠鏡の構造, 瞳径と光学系の明るさ), 顕微鏡 (顕微鏡の構造, 拡大原理, 照明法, 解像力と対物レンズ, コントラスト, 色収差, コンフォーカル顕微鏡) ステッパー (構造, 光学系, 更なる高解像を目指して)</p> <p>② 自然界の光 朝夕の太陽の分光スペクトル, 何故空は青いか夕日は赤いか, 虹の色について, ステンドグラスの鮮やかさ, 蜃気楼</p>

# 参加要領

当協会のホームページ (<https://www.joem.or.jp/moushikomi.htm>) から対面かオンラインかを選択して、お申し込み下さい。

- ※ 申込受付後、原則申込責任者様宛に受講票とご請求書をご送付しておりますが、受講者様宛に送付することも可能ですので、受講者様宛を希望される方は「申し込みフォームの通信欄」にその旨を明記してください。(申込責任者様が受講者様と同一の場合には不要です。)
- ※ オンラインでの受講をご希望の方にはテキストは原則ご勤務先へ送付しておりますが、在宅勤務のため職場ではなくご自宅への送付を希望される方は、申し込みフォームの通信欄に、ご送付先住所をご記入ください。

## 【参加費】 1名につき(テキスト代を含みます)

区 分	税 抜 き	消 費 税	税 込 み
正 会 員	23,000 円	2,300 円	25,300 円
賛助会員	28,750 円	2,875 円	31,625 円
協 賛	39,100 円	3,910 円	43,010 円
一 般	46,000 円	4,600 円	50,600 円

- ※ 当協会の会員外でも、協賛されている団体に所属されている方は、その旨を申込用紙にご記入ください。参加費が協賛の金額となります。
- ※ 参加費の払い戻しは致し兼ねます。お申込みされた方のご都合が悪くなった場合は、代理の方がご出席下さいます様お願いします。
- ※ 当協会に入会されますと本技術講座をはじめ、その他の諸事業への参加費が割安になりますので、この機会に入会をお勧めします。入会ご希望の方は、当協会へお問い合わせください。

## 【定 員】 35名(うち対面は先着順で16名までとなります。) ※対面かオンラインかは申し込み時に選択ください。

## 【申込期限】 2025年3月3日(月)まで ※定員になり次第、申込期限前でも締め切らせていただきます。

## 【申 込 先】 一般社団法人 日本オプトメカトロニクス協会 〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番22号 機械振興会館 別館4階 TEL : 03-3435-9321 FAX : 03-3435-9567 E-mail : info@joem.or.jp

## 【参加費振込先】 口座名 : 一般社団法人 日本オプトメカトロニクス協会 取引銀行 : みずほ銀行 神谷町支店 普通預金 2187994 ※ 受講料のお支払いはお申し込みされた翌日から受講後一ヶ月以内にお手続きしていただきたくお願い申し上げます。

## 【会 場】 機械振興会館 別館4階(一般社団法人 日本オプトメカトロニクス協会 研修室) <https://www.joem.or.jp/access.htm> (所在地) 東京都港区芝公園3丁目5番22号 (交 通) ・ 東京メトロ 日比谷線 神谷町駅 下車 徒歩 8分 ・ 都営地下鉄 三田線 御成門駅 下車 徒歩10分 ・ 都営地下鉄 大江戸線 赤羽橋駅 下車 徒歩10分 ・ 都営地下鉄 浅草線 大門駅 下車 徒歩15分 ・ JR : 山手・京浜東北線 浜松町駅 下車 徒歩17分

## 【連絡先】 一般社団法人 日本オプトメカトロニクス協会 事務局 TEL : 03-3435-9321 FAX : 03-3435-9567 E-mail : info@joem.or.jp

### 人材開発支援助成金について

事業主が、雇用保険の被保険者である従業員に対して、職業生活設計に即した自発的な職業能力の開発及び向上を目的として、計画に基づいた教育訓練などを行った場合、それにかかった費用の一部が助成される制度です。本技術講座も事業主が一定の条件を満たしていれば、この制度のうち「訓練給付金」の受給の対象となります。

詳しくは、[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html) をご覧下さい。